

# 令和 4 年度 病院事業決算状況

都道府県名 広島県

総務省

## - 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ			
-	県立広島病院	2	世羅中央病院企業団	公立世羅中央病院	20
-	県立安芸津病院	3			
広島市	広島市民病院	4			
広島市	安佐市民病院	5			
広島市	舟入市民病院	6			
広島市	安芸市民病院	7			
広島市	リハビリテーション病院	8			
呉市	公立下蒲刈病院	9			
尾道市	尾道市立市民病院	10			
尾道市	尾道市公立みつぎ総合病院	11			
福山市	福山市民病院	12			
府中市	府中市立湯が丘病院	13			
府中市	想定企業会計	14			
三次市	市立三次中央病院	15			
庄原市	庄原市立西城市民病院	16			
安芸太田町	安芸太田病院	17			
北広島町	北広島町豊平病院	18			
神石高原町	神石高原町立病院	19			

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				広島県	
市町村・組合名					
病院名 県立広島病院					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I未訓カ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	68,179 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	34	指定病院の状況	救臨がへ災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	650	80.8	79.6	79.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	50	17.2	18.1	51.3
感染症	-	-	-	-
計	700	80.3	78.1	78.9
平均在院日数(一般病床のみ)		10.2	9.5	10.2

設立団体の状況		
人口(人)	2,799,702	
決算規模(千円)	1,193,714,538	
標準財政規模(千円)	579,288,543	
財政力指数	0.58235	
経常収支比率(%)	92.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	13.7
	将来負担比率(%)	200.4

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	27,414,123			
1 経常収益	27,413,748			
(1) 医業収益	23,238,517			
(うち修正医業収益)	22,952,282			
入院収益	16,033,895			
外来収益	6,647,726			
診療収入計	22,681,621			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	556,896			
(うち他会計負担金)	286,235			
(2) 医業外収益	4,175,231			
(うち国・都道府県補助金)	2,480,216			
(うち他会計補助・負担金)	1,125,519			
(うち長期前受金戻入)	478,484			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	375			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	26,265,940			
2 経常費用	26,144,970			
(1) 医業費用	24,754,514			
職員給与費	12,744,137	54.8	59.4	52.8
材料費	7,388,574	31.8	26.1	31.5
(うち薬品費)	4,073,635	17.5	14.0	17.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	3,307,158	14.2	11.8	13.9
減価償却費	1,320,304	5.7	8.7	7.7
経費	3,193,178	13.7	22.1	18.0
(うち委託料)	1,922,106	8.3	11.7	10.7
研究研修費	90,008			
資産減耗費	18,313			
(2) 医業外費用	1,390,456			
(うち支払利息)	164,160	0.7	1.0	0.9
(3) 特別損失	120,970			
損益	1,268,778			
純損益	1,148,183			
累積欠損金	19,024,730			
経常収支比率	104.9		103.3	102.8
医業収支比率	93.9		85.5	90.3
修正医業収支比率	92.7		82.8	88.3
他会計繰入金対経常収益比率	5.1		11.1	7.5
他会計繰入金対医業収益比率	6.1		14.1	9.0
他会計繰入金対総収益比率	5.1		11.0	7.4
実質収益対経常費用比率	99.5		91.9	95.1

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	24,542,079
1 固定資産	16,164,365
(1) 有形固定資産	15,643,369
(2) 無形固定資産	8,760
(3) 投資その他の資産	512,236
2 流動資産	8,377,714
(1) 現金及び預金	2,147,786
(2) 未収金及び未収収益	5,837,056
(3) 貸倒引当金( )	31,138
(4) 貯蔵品	347,161
3 繰延資産	-
負債合計	21,983,767
1 固定負債	12,727,284
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,521,181
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	6,206,103
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	6,371,142
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,959,112
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	548,412
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	3,672,463
(9) 前受金及び前受収益	523
3 繰延収益	2,885,341
(1) 長期前受金	7,565,359
(2) 長期前受金収益化累計額( )	4,680,018
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	2,558,312
1 資本金	29,028,422
2 剰余金	-26,470,110
(1) 資本剰余金	872,957
(2) 利益剰余金	-27,343,067
負債・資本合計	24,542,079
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,071,014	1,411,754
資本勘定繰入	703,422	703,422
計	1,774,436	2,115,176

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	111.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				広島県	
市町村・組合名					
病院名 県立安芸津病院					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ドI訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	11,654 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	12	指定病院の状況	輸		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輸...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	98	61.6	65.7	74.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	98	61.6	65.7	74.4
平均在院日数(一般病床のみ)		15.8	18.3	18.7

設立団体の状況	
人口(人)	2,799,702
決算規模(千円)	1,193,714,538
標準財政規模(千円)	579,288,543
財政力指数	0.58235
経常収支比率(%)	92.9
健全化 判断比率	実質赤字比率(%) 連結実質赤字比率(%) 実質公債費比率(%) 将来負担比率(%)
	- - 13.7 200.4

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,100,712			
1 経常収益	2,095,632			
(1) 医業収益	1,335,494			
(うち修正医業収益)	1,256,385			
入院収益	779,022			
外来収益	429,125			
診療収入計	1,208,147			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	127,347			
(うち他会計負担金)	79,109			
(2) 医業外収益	760,138			
(うち国・都道府県補助金)	405,637			
(うち他会計補助・負担金)	287,022			
(うち長期前受金戻入)	59,241			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	5,080			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,171,787			
2 経常費用	2,145,298			
(1) 医業費用	2,069,813			
職員給与費	1,212,933	90.8	59.4	76.5
材料費	263,565	19.7	26.1	14.9
(うち薬品費)	114,057	8.5	14.0	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	149,144	11.2	11.8	6.4
減価償却費	114,589	8.6	8.7	11.5
経費	466,656	34.9	22.1	32.6
(うち委託料)	253,780	19.0	11.7	14.8
研究研修費	4,958			
資産減耗費	7,112			
(2) 医業外費用	75,485			
(うち支払利息)	204	-	1.0	1.3
(3) 特別損失	26,489			
損益	-49,666			
純損益	-71,075			
累積欠損金	8,318,337			
経常収支比率	97.7		103.3	101.5
医業収支比率	64.5		85.5	73.2
修正医業収支比率	60.7		82.8	69.2
他会計繰入金対経常収益比率	17.5		11.1	22.3
他会計繰入金対医業収益比率	27.4		14.1	33.0
他会計繰入金対総収益比率	17.4		11.0	22.3
実質収益対経常費用比率	80.6		91.9	78.8

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	24,542,079
1 固定資産	16,164,365
(1) 有形固定資産	15,643,369
(2) 無形固定資産	8,760
(3) 投資その他の資産	512,236
2 流動資産	8,377,714
(1) 現金及び預金	2,147,786
(2) 未収金及び未収収益	5,837,056
(3) 貸倒引当金( )	31,138
(4) 貯蔵品	347,161
3 繰延資産	-
負債合計	21,983,767
1 固定負債	12,727,284
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,521,181
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	6,206,103
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	6,371,142
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,959,112
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	548,412
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	3,672,463
(9) 前受金及び前受収益	523
3 繰延収益	2,885,341
(1) 長期前受金	7,565,359
(2) 長期前受金収益化累計額( )	4,680,018
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	2,558,312
1 資本	29,028,422
2 剰余金	-26,470,110
(1) 資本剰余金	872,957
(2) 利益剰余金	-27,343,067
負債・資本合計	24,542,079
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	359,344	366,131
資本勘定繰入	32,262	32,262
計	391,606	398,393

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	111.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名	
		広島県	
市町村・組合名	広島市		
病院名	広島市民病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	500床以上

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	1,200,754	
決算規模(千円)	705,188,318	
標準財政規模(千円)	342,971,969	
財政力指数	0.80	
経常収支比率(%)	98.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.8
	将来負担比率(%)	164.8

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	263,786			
1 経常収益	263,786			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	263,786			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	263,786			
2 経常費用	263,786			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	59.4	52.8
材料費	-	-	26.1	31.5
(うち薬品費)	-	-	14.0	17.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	13.9
減価償却費	-	-	8.7	7.7
経費	-	-	22.1	18.0
(うち委託料)	-	-	11.7	10.7
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	263,786			
(うち支払利息)	263,786	-	1.0	0.9
(3) 特別損失	-			
経常損失	-			
損益				
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		103.3	102.8
医業収支比率	-		85.5	90.3
修正医業収支比率	-		82.8	88.3
他会計繰入金対経常収益比率	-		11.1	7.5
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.1	9.0
他会計繰入金対総収益比率	-		11.0	7.4
実質収益対経常費用比率	100.0		91.9	95.1

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時借入金	-
(8) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	28.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益から  
 その他医業収益のうち他会計負担金を  
 除いたもので、修正医業収支比率とは、  
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の  
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から  
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、  
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に  
 占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
 「健全化法上の資金不足額」、  
 「健全化法上の資金不足比率」、  
 「地財法上の資金不足額」、  
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
 算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に  
 支出される経費(経常的経費)に充当された  
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債  
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名	
		広島県	
市町村・組合名	広島市		
病院名	安佐市民病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	500床以上

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	1,200,754	
決算規模(千円)	705,188,318	
標準財政規模(千円)	342,971,969	
財政力指数	0.80	
経常収支比率(%)	98.2	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.8
	将来負担比率(%)	164.8

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,584			
1 経常収益	1,584			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	1,584			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,584			
2 経常費用	1,584			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	59.4	52.8
材料費	-	-	26.1	31.5
(うち薬品費)	-	-	14.0	17.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	13.9
減価償却費	-	-	8.7	7.7
経費	-	-	22.1	18.0
(うち委託料)	-	-	11.7	10.7
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	1,584			
(うち支払利息)	1,584	-	1.0	0.9
(3) 特別損失	-			
経常損失	-			
損益	純損益	-		
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		103.3	102.8
医業収支比率	-		85.5	90.3
修正医業収支比率	-		82.8	88.3
他会計繰入金対経常収益比率	-		11.1	7.5
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.1	9.0
他会計繰入金対総収益比率	-		11.0	7.4
実質収益対経常費用比率	100.0		91.9	95.1

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時借入金	-
(8) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	28.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益から  
 その他医業収益のうち他会計負担金を  
 除いたもので、修正医業収支比率とは、  
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の  
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から  
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、  
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に  
 占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
 「健全化法上の資金不足額」、  
 「健全化法上の資金不足比率」、  
 「地財法上の資金不足額」、  
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
 算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に  
 支出される経費(経常的経費)に充当された  
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債  
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名	
		広島県	
市町村・組合名	広島市		
病院名	舟入市民病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	100床以上～200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	1,200,754	
決算規模(千円)	705,188,318	
標準財政規模(千円)	342,971,969	
財政力指数	0.80	
経常収支比率(%)	98.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.8
	将来負担比率(%)	164.8

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	50,303			
1 経常収益	50,303			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	50,303			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	50,303			
2 経常費用	50,303			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	59.4	67.0
材料費	-	-	26.1	18.2
(うち薬品費)	-	-	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	9.4
減価償却費	-	-	8.7	10.2
経費	-	-	22.1	28.8
(うち委託料)	-	-	11.7	13.2
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	50,303			
(うち支払利息)	50,303	-	1.0	1.1
(3) 特別損失	-			
経常損失	-			
損益	純損益	-		
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		103.3	104.5
医業収支比率	-		85.5	80.1
修正医業収支比率	-		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	-		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	-		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	100.0		91.9	88.8

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時借入金	-
(8) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	28.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益から  
 その他医業収益のうち他会計負担金を  
 除いたもので、修正医業収支比率とは、  
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の  
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から  
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、  
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に  
 占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
 「健全化法上の資金不足額」、  
 「健全化法上の資金不足比率」、  
 「地財法上の資金不足額」、  
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
 算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に  
 支出される経費(経常的経費)に充当された  
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債  
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				広島県	
市町村・組合名		広島市			
病院名		安芸市民病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	7,901 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	6	指定病院の状況	救 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(代行制)		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	80	84.5	92.7	92.0
療養	60	95.7	99.1	98.4
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	140	89.3	95.4	94.7
平均在院日数(一般病床のみ)		17.6	21.4	23.1

設立団体の状況		
人口(人)	1,200,754	
決算規模(千円)	705,188,318	
標準財政規模(千円)	342,971,969	
財政力指数	0.80	
経常収支比率(%)	98.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.8
	将来負担比率(%)	164.8

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,171,707			
1 経常収益	2,170,627			
(1) 医業収益	1,985,721			
(うち修正医業収益)	1,980,435			
入院収益	1,411,079			
外来収益	499,786			
診療収入計	1,910,865			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	74,856			
(うち他会計負担金)	5,286			
(2) 医業外収益	184,906			
(うち国・都道府県補助金)	6,926			
(うち他会計補助・負担金)	72,182			
(うち長期前受金戻入)	47,028			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	1,080			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,169,999			
2 経常費用	2,168,575			
(1) 医業費用	2,148,378			
職員給与費	7,135	0.4	59.4	67.0
材料費	-	-	26.1	18.2
(うち薬品費)	-	-	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	9.4
減価償却費	78,082	3.9	8.7	10.2
経費	2,055,652	103.5	22.1	28.8
(うち委託料)	80,952	4.1	11.7	13.2
研究研修費	-			
資産減耗費	7,509			
(2) 医業外費用	20,197			
(うち支払利息)	19,640	1.0	1.0	1.1
(3) 特別損失	1,424			
経常損益	2,052			
純損益	1,708			
累積欠損金	556,236			
経常収支比率	100.1		103.3	104.5
医業収支比率	92.4		85.5	80.1
修正医業収支比率	92.2		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	3.6		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	3.9		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	3.6		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	96.5		91.9	88.8

備考：「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,082,425
1 固定資産	2,579,720
(1) 有形固定資産	2,578,920
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	800
2 流動資産	502,705
(1) 現金及び預金	29,704
(2) 未収金及び未収収益	489,631
(3) 貸倒引当金( )	16,630
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	2,228,551
1 固定負債	1,132,955
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,091,046
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	41,909
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	579,004
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	128,359
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	350
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	250,000
(8) 未払金及び未払費用	203,603
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	516,592
(1) 長期前受金	1,158,475
(2) 長期前受金収益化累計額( )	641,883
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	853,874
1 資本金	493,741
2 剰余金	360,133
(1) 資本剰余金	916,369
(2) 利益剰余金	-556,236
負債・資本合計	3,082,425
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	69,234	77,468
資本勘定繰入	80,861	116,404
計	150,095	193,872

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	28.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名	
		広島県	
市町村・組合名	広島市		
病院名	リハビリテーション病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	100床以上～200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	1,200,754	
決算規模(千円)	705,188,318	
標準財政規模(千円)	342,971,969	
財政力指数	0.80	
経常収支比率(%)	98.2	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.8
	将来負担比率(%)	164.8

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	43,773			
1 経常収益	43,773			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	43,773			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	43,773			
2 経常費用	43,773			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	59.4	67.0
材料費	-	-	26.1	18.2
(うち薬品費)	-	-	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	9.4
減価償却費	-	-	8.7	10.2
経費	-	-	22.1	28.8
(うち委託料)	-	-	11.7	13.2
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	43,773			
(うち支払利息)	43,773	-	1.0	1.1
(3) 特別損失	-			
経常損失	-			
損益	純損益	-		
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		103.3	104.5
医業収支比率	-		85.5	80.1
修正医業収支比率	-		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	-		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	-		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	100.0		91.9	88.8

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時借入金	-
(8) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	28.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益から  
 その他医業収益のうち他会計負担金を  
 除いたもので、修正医業収支比率とは、  
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の  
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から  
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、  
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に  
 占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
 「健全化法上の資金不足額」、  
 「健全化法上の資金不足比率」、  
 「地財法上の資金不足額」、  
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
 算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に  
 支出される経費(経常的経費)に充当された  
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債  
 の合計額に占める割合をいう。



病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				広島県	
市町村・組合名	呉市				
病院名	公立下蒲刈病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	2,909 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	12	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	15:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	49	62.3	71.9	64.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	49	62.3	71.9	64.1
平均在院日数(一般病床のみ)		38.1	41.8	37.4

設立団体の状況		
人口(人)	214,592	
決算規模(千円)	108,836,845	
標準財政規模(千円)	55,391,653	
財政力指数	0.59	
経常収支比率(%)	93.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.0
	将来負担比率(%)	43.7

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	649,285			
1 経常収益	649,285			
(1) 医業収益	461,923			
(うち修正医業収益)	417,328			
入院収益	230,605			
外来収益	167,687			
診療収入計	398,292			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	63,631			
(うち他会計負担金)	44,595			
(2) 医業外収益	187,362			
(うち国・都道府県補助金)	4,140			
(うち他会計補助・負担金)	167,770			
(うち長期前受金戻入)	9,867			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	721,226			
2 経常費用	721,226			
(1) 医業費用	704,812			
職員給与費	499,048	108.0	59.4	87.7
材料費	37,194	8.1	26.1	13.6
(うち薬品費)	18,667	4.0	14.0	7.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	18,504	4.0	11.8	5.9
減価償却費	37,704	8.2	8.7	12.7
経費	129,898	28.1	22.1	45.1
(うち委託料)	88,589	19.2	11.7	21.3
研究研修費	710			
資産減耗費	258			
(2) 医業外費用	16,414			
(うち支払利息)	661	0.1	1.0	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損失	-71,941			
純損失	-71,941			
累積欠損金	487,336			
経常収支比率	90.0		103.3	101.7
医業収支比率	65.5		85.5	62.5
修正医業収支比率	59.2		82.8	57.3
他会計繰入金対経常収益比率	32.7		11.1	33.6
他会計繰入金対医業収益比率	46.0		14.1	57.9
他会計繰入金対総収益比率	32.7		11.0	33.5
実質収益対経常費用比率	60.6		91.9	67.5

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	694,194
1 固定資産	573,175
(1) 有形固定資産	568,290
(2) 無形固定資産	171
(3) 投資その他の資産	4,714
2 流動資産	121,019
(1) 現金及び預金	55,810
(2) 未収金及び未収収益	63,200
(3) 貸倒引当金( )	291
(4) 貯蔵品	2,300
3 繰延資産	-
負債合計	385,823
1 固定負債	130,703
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	40,017
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	90,686
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	76,668
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	15,290
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	28,150
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	21,146
(9) 前受金及び前受収益	15
3 繰延収益	178,452
(1) 長期前受金	398,335
(2) 長期前受金収益化累計額( )	219,883
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	308,371
1 資本金	795,696
2 剰余金	-487,325
(1) 資本剰余金	11
(2) 利益剰余金	-487,336
負債・資本合計	694,194
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	212,365	212,365
資本勘定繰入	9,238	9,238
計	221,603	221,603

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	105.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたもの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				広島県	
市町村・組合名		尾道市			
病院名		尾道市立市民病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	28,438 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	25	指定病院の状況	救臨地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	200床以上～300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	290	69.4	71.2	69.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	290	69.4	71.2	69.4
平均在院日数(一般病床のみ)		15.8	15.9	16.1

設立団体の状況		
人口(人)	131,170	
決算規模(千円)	64,487,530	
標準財政規模(千円)	36,202,862	
財政力指数	0.52	
経常収支比率(%)	94.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.3
	将来負担比率(%)	12.4

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	7,749,102			
1 経常収益	7,746,080			
(1) 医業収益	6,706,996			
(うち修正医業収益)	6,278,490			
入院収益	4,569,295			
外来収益	1,531,581			
診療収入計	6,100,876			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	606,120			
(うち他会計負担金)	428,506			
(2) 医業外収益	1,039,084			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	428,374			
(うち長期前受金戻入)	72,199			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	3,022			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	7,762,217			
2 経常費用	7,753,059			
(1) 医業費用	7,468,771			
職員給与費	4,239,482	63.2	59.4	63.7
材料費	1,428,836	21.3	26.1	21.0
(うち薬品費)	653,024	9.7	14.0	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	768,333	11.5	11.8	10.1
減価償却費	510,309	7.6	8.7	9.7
経費	1,265,059	18.9	22.1	28.9
(うち委託料)	701,692	10.5	11.7	13.6
研究研修費	16,280			
資産減耗費	8,805			
(2) 医業外費用	284,288			
(うち支払利息)	29,425	0.4	1.0	1.1
(3) 特別損失	9,158			
損益	-6,979			
純損益	-13,115			
累積欠損金	314,706			
経常収支比率	99.9		103.3	101.8
医業収支比率	89.8		85.5	80.8
修正医業収支比率	84.1		82.8	77.4
他会計繰入金対経常収益比率	11.1		11.1	12.3
他会計繰入金対医業収益比率	12.8		14.1	16.5
他会計繰入金対総収益比率	11.1		11.0	12.3
実質収益対経常費用比率	88.9		91.9	89.2

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	20,380,358
1 固定資産	12,802,023
(1) 有形固定資産	12,343,982
(2) 無形固定資産	1,969
(3) 投資その他の資産	456,072
2 流動資産	7,578,335
(1) 現金及び預金	5,404,943
(2) 未収金及び未収収益	2,106,274
(3) 貸倒引当金( )	1,573
(4) 貯蔵品	61,919
3 繰延資産	-
負債合計	11,698,048
1 固定負債	7,623,528
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,377,349
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	4,217,106
(7) 一ス債務	29,073
2 流動負債	2,298,468
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	517,647
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	654,962
(6) リ一ス債務	7,510
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,060,739
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,776,052
(1) 長期前受金	3,511,990
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,735,938
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	8,682,310
1 資本金	8,399,181
2 剰余金	283,129
(1) 資本剰余金	212,465
(2) 利益剰余金	70,664
負債・資本合計	20,380,358
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,160,951	856,880
資本勘定繰入	256,565	48,100
計	1,417,516	904,980

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	4.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				広島県	
市町村・組合名	尾道市				
病院名	尾道市公立みつぎ総合病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	20,677 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	21	指定病院の状況	救臨 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	145	75.8	79.3	83.9
療養	95	79.9	85.8	86.8
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	240	77.4	81.9	85.1
平均在院日数(一般病床のみ)		25.6	18.6	19.3

設立団体の状況		
人口(人)	131,170	
決算規模(千円)	64,487,530	
標準財政規模(千円)	36,202,862	
財政力指数	0.52	
経常収支比率(%)	94.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.3
	将来負担比率(%)	12.4

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	6,473,895			
1 経常収益	6,272,821			
(1) 医業収益	4,593,342			
(うち修正医業収益)	4,300,904			
入院収益	2,421,494			
外来収益	906,531			
診療収入計	3,328,025			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	1,265,317			
(うち他会計負担金)	292,438			
(2) 医業外収益	1,679,479			
(うち国・都道府県補助金)	422			
(うち他会計補助・負担金)	440,428			
(うち長期前受金戻入)	127,581			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	201,074			
(うち他会計繰入金)	200,000			
総費用	6,508,401			
2 経常費用	6,490,934			
(1) 医業費用	5,386,502			
職員給与費	3,547,453	77.2	59.4	63.7
材料費	544,105	11.8	26.1	21.0
(うち薬品費)	222,567	4.8	14.0	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	300,789	6.5	11.8	10.1
減価償却費	388,928	8.5	8.7	9.7
経費	892,908	19.4	22.1	28.9
(うち委託料)	468,420	10.2	11.7	13.6
研究研修費	8,657			
資産減耗費	4,451			
(2) 医業外費用	1,104,432			
(うち支払利息)	16,060	0.3	1.0	1.1
(3) 特別損失	17,467			
損益	-218,113			
純損益	-34,506			
累積欠損金	152,630			
経常収支比率	96.6		103.3	101.8
医業収支比率	85.3		85.5	80.8
修正医業収支比率	79.8		82.8	77.4
他会計繰入金対経常収益比率	11.7		11.1	12.3
他会計繰入金対医業収益比率	16.0		14.1	16.5
他会計繰入金対総収益比率	14.4		11.0	12.3
実質収益対経常費用比率	85.3		91.9	89.2

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	20,380,358
1 固定資産	12,802,023
(1) 有形固定資産	12,343,982
(2) 無形固定資産	1,969
(3) 投資その他の資産	456,072
2 流動資産	7,578,335
(1) 現金及び預金	5,404,943
(2) 未収金及び未収収益	2,106,274
(3) 貸倒引当金( )	1,573
(4) 貯蔵品	61,919
3 繰延資産	-
負債合計	11,698,048
1 固定負債	7,623,528
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,377,349
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	4,217,106
(7) 一ス債務	29,073
2 流動負債	2,298,468
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	517,647
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	654,962
(6) リ一ス債務	7,510
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,060,739
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,776,052
(1) 長期前受金	3,511,990
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,735,938
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	8,682,310
1 資本金	8,399,181
2 剰余金	283,129
(1) 資本剰余金	212,465
(2) 利益剰余金	70,664
負債・資本合計	20,380,358
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	627,433	932,866
資本勘定繰入	171,404	97,900
計	798,837	1,030,766

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	4.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				広島県	
市町村・組合名	福山市				
病院名	福山市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓カ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	49,620 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	28	指定病院の状況	救臨が感災地		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	500	69.6	71.8	72.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	6	50.9	39.8	94.4
計	506	69.4	71.4	72.4
平均在院日数(一般病床のみ)		9.4	9.2	9.7

設立団体の状況		
人口(人)	460,930	
決算規模(千円)	213,823,764	
標準財政規模(千円)	108,118,463	
財政力指数	0.79	
経常収支比率(%)	83.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	1.3
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	21,619,037			
1 経常収益	21,612,556			
(1) 医業収益	18,176,959			
(うち修正医業収益)	17,969,150			
入院収益	11,952,260			
外来収益	5,847,216			
診療収入計	17,799,476			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	377,483			
(うち他会計負担金)	207,809			
(2) 医業外収益	3,435,597			
(うち国・都道府県補助金)	2,169,391			
(うち他会計補助・負担金)	418,733			
(うち長期前受金戻入)	670,547			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	6,481			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	20,693,970			
2 経常費用	20,665,916			
(1) 医業費用	19,463,088			
職員給与費	9,317,362	51.3	59.4	52.8
材料費	6,280,152	34.6	26.1	31.5
(うち薬品費)	3,259,917	17.9	14.0	17.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	2,955,616	16.3	11.8	13.9
減価償却費	977,467	5.4	8.7	7.7
経費	2,789,848	15.3	22.1	18.0
(うち委託料)	1,389,207	7.6	11.7	10.7
研究研修費	76,017			
資産減耗費	22,242			
(2) 医業外費用	1,202,828			
(うち支払利息)	164,807	0.9	1.0	0.9
(3) 特別損失	28,054			
損益	946,640			
純損益	925,067			
累積欠損金	-			
経常収支比率	104.6		103.3	102.8
医業収支比率	93.4		85.5	90.3
修正医業収支比率	92.3		82.8	88.3
他会計繰入金対経常収益比率	2.9		11.1	7.5
他会計繰入金対医業収益比率	3.4		14.1	9.0
他会計繰入金対総収益比率	2.9		11.0	7.4
実質収益対経常費用比率	101.5		91.9	95.1

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	29,269,912
1 固定資産	10,301,442
(1) 有形固定資産	10,264,763
(2) 無形固定資産	5,109
(3) 投資その他の資産	31,570
2 流動資産	18,968,470
(1) 現金及び預金	15,304,888
(2) 未収金及び未収収益	3,663,717
(3) 貸倒引当金( )	42,515
(4) 貯蔵品	41,726
3 繰延資産	-
負債合計	16,870,017
1 固定負債	12,805,078
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	9,533,117
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,271,961
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	2,646,218
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	791,875
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	405,281
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,369,456
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,418,721
(1) 長期前受金	14,338,455
(2) 長期前受金収益化累計額( )	12,919,734
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	12,399,895
1 資本金	2,539,289
2 剰余金	9,860,606
(1) 資本剰余金	445,996
(2) 利益剰余金	9,414,610
負債・資本合計	29,269,912
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	626,542	626,542
資本勘定繰入	600,280	600,280
計	1,226,822	1,226,822

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名	
		広島県	
市町村・組合名	府中市		
病院名	府中市立湯が丘病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	
病院区分	精神科病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	8,765 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	1	指定病院の状況	臨
許可公営企業		看護配置	15:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	精神病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	308	58.1	62.6	65.7
感染症	-	-	-	-
計	308	58.1	62.6	65.7
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	37,655	
決算規模(千円)	21,738,146	
標準財政規模(千円)	11,954,451	
財政力指数	0.44	
経常収支比率(%)	96.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.2
	将来負担比率(%)	51.8

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,333,613			
1 経常収益	1,333,613			
(1) 医業収益	1,043,293			
(うち修正医業収益)	1,043,293			
入院収益	980,891			
外来収益	45,181			
診療収入計	1,026,072			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	17,221			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	290,320			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	257,909			
(うち長期前受金戻入)	20,072			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,264,414			
2 経常費用	1,264,414			
(1) 医業費用	1,227,774			
職員給与費	891,042	85.4	59.4	105.1
材料費	64,381	6.2	26.1	9.8
(うち薬品費)	47,516	4.6	14.0	6.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	15,134	1.5	11.8	1.6
減価償却費	68,917	6.6	8.7	12.8
経費	202,050	19.4	22.1	35.3
(うち委託料)	118,718	11.4	11.7	17.0
研究研修費	1,161			
資産減耗費	223			
(2) 医業外費用	36,640			
(うち支払利息)	1,257	0.1	1.0	2.4
(3) 特別損失	-			
損益	69,199			
純損益	69,199			
累積欠損金	63,065			
経常収支比率	105.5		103.3	101.8
医業収支比率	85.0		85.5	61.1
修正医業収支比率	85.0		82.8	58.7
他会計繰入金対経常収益比率	19.3		11.1	32.9
他会計繰入金対医業収益比率	24.7		14.1	57.0
他会計繰入金対総収益比率	19.3		11.0	32.7
実質収益対経常費用比率	85.1		91.9	68.3

備考：「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,141,322
1 固定資産	1,024,174
(1) 有形固定資産	665,733
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	358,441
2 流動資産	2,117,148
(1) 現金及び預金	1,956,596
(2) 未収金及び未収収益	161,395
(3) 貸倒引当金( )	4,972
(4) 貯蔵品	3,963
3 繰延資産	-
負債合計	1,556,438
1 固定負債	1,177,905
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	606,489
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	571,416
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	257,749
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	114,920
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	59,166
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	83,566
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	120,784
(1) 長期前受金	386,353
(2) 長期前受金収益化累計額( )	265,569
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	1,584,884
1 資本金	1,893,817
2 剰余金	-308,933
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-308,933
負債・資本合計	3,141,322
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	255,147	257,909
資本勘定繰入	24,749	24,749
計	279,896	282,658

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	70.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名	
		広島県	
市町村・組合名	府中市		
病院名	想定企業会計		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床以上~100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	37,655	
決算規模(千円)	21,738,146	
標準財政規模(千円)	11,954,451	
財政力指数	0.44	
経常収支比率(%)	96.5	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.2
	将来負担比率(%)	51.8

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	14,794			
1 経常収益	14,794			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	14,794			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	14,794			
2 経常費用	14,794			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	59.4	76.5
材料費	-	-	26.1	14.9
(うち薬品費)	-	-	14.0	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	6.4
減価償却費	-	-	8.7	11.5
経費	-	-	22.1	32.6
(うち委託料)	-	-	11.7	14.8
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	14,794			
(うち支払利息)	14,794	-	1.0	1.3
(3) 特別損失	-			
経常損失	-			
損益	純損益	-		
累積欠損金	669,862			
経常収支比率	100.0		103.3	101.5
医業収支比率	-		85.5	73.2
修正医業収支比率	-		82.8	69.2
他会計繰入金対経常収益比率	-		11.1	22.3
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.1	33.0
他会計繰入金対総収益比率	-		11.0	22.3
実質収益対経常費用比率	100.0		91.9	78.8

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時借入金	-
(8) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	70.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益から  
 その他医業収益のうち他会計負担金を  
 除いたもので、修正医業収支比率とは、  
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の  
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から  
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、  
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に  
 占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
 「健全化法上の資金不足額」、  
 「健全化法上の資金不足比率」、  
 「地財法上の資金不足額」、  
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
 算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に  
 支出される経費(経常的経費)に充当された  
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債  
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				広島県	
市町村・組合名	三次市				
病院名	市立三次中央病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	23,120 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	25	指定病院の状況	救臨がへ災地輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	350	61.6	62.6	70.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	350	61.6	62.6	70.7
平均在院日数(一般病床のみ)		12.7	14.0	12.8

設立団体の状況		
人口(人)	50,681	
決算規模(千円)	39,400,236	
標準財政規模(千円)	22,059,723	
財政力指数	0.33	
経常収支比率(%)	98.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.0
	将来負担比率(%)	23.0

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	9,984,816			
1 経常収益	9,954,533			
(1) 医業収益	8,576,764			
(うち修正医業収益)	8,535,544			
入院収益	5,154,385			
外来収益	3,045,136			
診療収入計	8,199,521			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	377,243			
(うち他会計負担金)	41,220			
(2) 医業外収益	1,377,769			
(うち国・都道府県補助金)	892,271			
(うち他会計補助・負担金)	255,780			
(うち長期前受金戻入)	170,580			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	30,283			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	9,815,147			
2 経常費用	9,768,362			
(1) 医業費用	9,292,398			
職員給与費	4,644,816	54.2	59.4	59.0
材料費	2,608,138	30.4	26.1	25.6
(うち薬品費)	1,486,817	17.3	14.0	13.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,060,324	12.4	11.8	11.2
減価償却費	505,481	5.9	8.7	8.6
経費	1,487,700	17.3	22.1	21.3
(うち委託料)	885,906	10.3	11.7	11.6
研究研修費	40,122			
資産減耗費	6,141			
(2) 医業外費用	475,964			
(うち支払利息)	36,932	0.4	1.0	1.1
(3) 特別損失	46,785			
損益	186,171			
純損益	169,669			
累積欠損金	-			
経常収支比率	101.9		103.3	104.8
医業収支比率	92.3		85.5	87.0
修正医業収支比率	91.9		82.8	84.4
他会計繰入金対経常収益比率	3.0		11.1	9.3
他会計繰入金対医業収益比率	3.5		14.1	11.8
他会計繰入金対総収益比率	3.0		11.0	9.2
実質収益対経常費用比率	98.9		91.9	95.1

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	14,860,292
1 固定資産	10,508,944
(1) 有形固定資産	5,793,678
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	4,715,266
2 流動資産	4,351,348
(1) 現金及び預金	2,417,944
(2) 未収金及び未収収益	1,873,473
(3) 貸倒引当金( )	10,419
(4) 貯蔵品	69,645
3 繰延資産	-
負債合計	6,427,256
1 固定負債	3,138,261
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,171,630
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,963,602
(7) 一ス債務	3,029
2 流動負債	1,779,960
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	649,246
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	278,391
(6) リ一ス債務	3,297
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	832,106
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,509,035
(1) 長期前受金	4,288,834
(2) 長期前受金収益化累計額( )	2,779,799
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	8,433,036
1 資本金	4,784,176
2 剰余金	3,648,860
(1) 資本金剰余金	130,337
(2) 利益剰余金	3,518,523
負債・資本合計	14,860,292
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	564,260	297,000
資本勘定繰入	502,365	142,100
計	1,066,625	439,100

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				広島県	
市町村・組合名		庄原市			
病院名		庄原市立西城市民病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	4,099 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	9	指定病院の状況	救臨へ輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	54	78.6	81.2	81.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	54	78.6	81.2	81.8
平均在院日数(一般病床のみ)		19.2	20.0	20.0

設立団体の状況		
人口(人)	33,633	
決算規模(千円)	33,358,062	
標準財政規模(千円)	17,829,506	
財政力指数	0.26	
経常収支比率(%)	96.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.3
	将来負担比率(%)	83.9

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,445,394			
1 経常収益	1,445,394			
(1) 医業収益	974,769			
(うち修正医業収益)	926,112			
入院収益	441,387			
外来収益	434,577			
診療収入計	875,964			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	98,805			
(うち他会計負担金)	48,657			
(2) 医業外収益	470,625			
(うち国・都道府県補助金)	11,560			
(うち他会計補助・負担金)	185,601			
(うち長期前受金戻入)	28,609			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,322,650			
2 経常費用	1,322,650			
(1) 医業費用	1,286,234			
職員給与費	820,361	84.2	59.4	76.5
材料費	91,557	9.4	26.1	14.9
(うち薬品費)	39,588	4.1	14.0	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	51,969	5.3	11.8	6.4
減価償却費	87,254	9.0	8.7	11.5
経費	285,713	29.3	22.1	32.6
(うち委託料)	128,400	13.2	11.7	14.8
研究研修費	719			
資産減耗費	630			
(2) 医業外費用	36,416			
(うち支払利息)	3,748	0.4	1.0	1.3
(3) 特別損失	-			
経常損益	122,744			
純損益	122,744			
累積欠損金	275,468			
経常収支比率	109.3		103.3	101.5
医業収支比率	75.8		85.5	73.2
修正医業収支比率	72.0		82.8	69.2
他会計繰入金対経常収益比率	16.2		11.1	22.3
他会計繰入金対医業収益比率	24.0		14.1	33.0
他会計繰入金対総収益比率	16.2		11.0	22.3
実質収益対経常費用比率	91.6		91.9	78.8

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,881,728
1 固定資産	775,559
(1) 有形固定資産	755,429
(2) 無形固定資産	20,130
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	1,106,169
(1) 現金及び預金	860,227
(2) 未収金及び未収収益	245,675
(3) 貸倒引当金( )	784
(4) 貯蔵品	1,050
3 繰延資産	-
負債合計	485,739
1 固定負債	135,185
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	135,185
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	157,393
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	54,777
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	60,518
(6) リ一ス債務	52
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	32,431
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	193,161
(1) 長期前受金	516,447
(2) 長期前受金収益化累計額( )	323,286
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	1,395,989
1 資本金	1,635,496
2 剰余金	-239,507
(1) 資本剰余金	35,961
(2) 利益剰余金	-275,468
負債・資本合計	1,881,728
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	221,920	234,258
資本勘定繰入	41,692	44,152
計	263,612	278,410

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	28.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。



病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				広島県	
市町村・組合名	安芸太田町				
病院名	安芸太田病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	10,979 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	12	指定病院の状況	救臨へ		
許可公営企業		看護配置	13:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	53	83.7	84.5	82.2
療養	52	77.0	79.0	74.7
結核	-	-	-	-
精神	44	20.1	50.2	62.3
感染症	-	-	-	-
計	149	62.6	72.5	73.7
平均在院日数(一般病床のみ)		21.3	21.3	17.6

設立団体の状況		
人口(人)	5,740	
決算規模(千円)	8,175,168	
標準財政規模(千円)	4,888,033	
財政力指数	0.20	
経常収支比率(%)	97.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.1
	将来負担比率(%)	9.5

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,995,761			
1 経常収益	1,992,128			
(1) 医業収益	1,572,366			
(うち修正医業収益)	1,496,704			
入院収益	966,634			
外来収益	439,475			
診療収入計	1,406,109			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	166,257			
(うち他会計負担金)	75,662			
(2) 医業外収益	419,762			
(うち国・都道府県補助金)	36,405			
(うち他会計補助・負担金)	258,716			
(うち長期前受金戻入)	108,148			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	3,633			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,000,385			
2 経常費用	1,989,698			
(1) 医業費用	1,910,318			
職員給与費	1,158,181	73.7	59.4	67.0
材料費	209,622	13.3	26.1	18.2
(うち薬品費)	56,931	3.6	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	128,125	8.1	11.8	9.4
減価償却費	189,819	12.1	8.7	10.2
経費	347,736	22.1	22.1	28.8
(うち委託料)	146,976	9.3	11.7	13.2
研究研修費	4,176			
資産減耗費	784			
(2) 医業外費用	79,380			
(うち支払利息)	7,032	0.4	1.0	1.1
(3) 特別損失	10,687			
経常損益	2,430			
純損益	-4,624			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.1		103.3	104.5
医業収支比率	82.3		85.5	80.1
修正医業収支比率	78.3		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	16.8		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	21.3		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	16.8		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	83.3		91.9	88.8

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,688,087
1 固定資産	2,263,239
(1) 有形固定資産	2,235,275
(2) 無形固定資産	894
(3) 投資その他の資産	27,070
2 流動資産	1,424,848
(1) 現金及び預金	1,078,599
(2) 未収金及び未収収益	335,650
(3) 貸倒引当金( )	116
(4) 貯蔵品	8,493
3 繰延資産	-
負債合計	2,038,482
1 固定負債	529,719
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	529,719
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	351,978
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	58,606
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	67,084
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	225,116
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,156,785
(1) 長期前受金	1,774,812
(2) 長期前受金収益化累計額( )	618,027
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	1,649,605
1 資本金	1,334,906
2 剰余金	314,699
(1) 資本剰余金	49,398
(2) 利益剰余金	265,301
負債・資本合計	3,688,087
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	334,378	334,378
資本勘定繰入	115,795	64,200
計	450,173	398,578

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名	
		広島県	
市町村・組合名	北広島町		
病院名	北広島町豊平病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(利用料金制)
		類似区分	50床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況	
人口(人)	17,763
決算規模(千円)	15,919,098
標準財政規模(千円)	9,517,854
財政力指数	0.35
経常収支比率(%)	88.9
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	9,318			
1 経常収益	9,318			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	9,318			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	9,318			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	9,318			
2 経常費用	9,318			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	59.4	87.7
材料費	-	-	26.1	13.6
(うち薬品費)	-	-	14.0	7.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	5.9
減価償却費	-	-	8.7	12.7
経費	-	-	22.1	45.1
(うち委託料)	-	-	11.7	21.3
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	9,318			
(うち支払利息)	9,318	-	1.0	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損失	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		103.3	101.7
医業収支比率	-		85.5	62.5
修正医業収支比率	-		82.8	57.3
他会計繰入金対経常収益比率	100.0		11.1	33.6
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.1	57.9
他会計繰入金対総収益比率	100.0		11.0	33.5
実質収益対経常費用比率	-		91.9	67.5

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	6,212	9,318
資本勘定繰入	36,274	54,411
計	42,486	63,729

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益から  
 その他医業収益のうち他会計負担金を  
 除いたもので、修正医業収支比率とは、  
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の  
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から  
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、  
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に  
 占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
 「健全化法上の資金不足額」、  
 「健全化法上の資金不足比率」、  
 「地財法上の資金不足額」、  
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
 算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に  
 支出される経費(経常的経費)に充当された  
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債  
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				広島県	
市町村・組合名	神石高原町				
病院名	神石高原町立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	5,530 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	7	指定病院の状況	救へ		
許可公営企業		看護配置	13:1		
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	60	73.5	64.7	62.0
療養	-	60.6	82.2	83.9
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	60	72.9	72.3	71.5
平均在院日数(一般病床のみ)		26.4	19.7	18.0

設立団体の状況		
人口(人)	8,250	
決算規模(千円)	12,298,688	
標準財政規模(千円)	6,394,194	
財政力指数	0.20	
経常収支比率(%)	78.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.0
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	345,874			
1 経常収益	345,874			
(1) 医業収益	18,658			
(うち修正医業収益)	1,189			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	18,658			
(うち他会計負担金)	17,469			
(2) 医業外収益	327,216			
(うち国・都道府県補助金)	4,108			
(うち他会計補助・負担金)	233,349			
(うち長期前受金戻入)	25,228			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	345,850			
2 経常費用	345,850			
(1) 医業費用	343,394			
職員給与費	-	-	59.4	76.5
材料費	-	-	26.1	14.9
(うち薬品費)	-	-	14.0	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	6.4
減価償却費	39,635	212.4	8.7	11.5
経費	302,783	1622.8	22.1	32.6
(うち委託料)	12,175	65.3	11.7	14.8
研究研修費	-			
資産減耗費	976			
(2) 医業外費用	2,456			
(うち支払利息)	2,456	13.2	1.0	1.3
(3) 特別損失	-			
経常損益	24			
純損益	24			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		103.3	101.5
医業収支比率	5.4		85.5	73.2
修正医業収支比率	0.3		82.8	69.2
他会計繰入金対経常収益比率	72.5		11.1	22.3
他会計繰入金対医業収益比率	1344.3		14.1	33.0
他会計繰入金対総収益比率	72.5		11.0	22.3
実質収益対経常費用比率	27.5		91.9	78.8

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,811,074
1 固定資産	3,613,356
(1) 有形固定資産	3,505,549
(2) 無形固定資産	1,099
(3) 投資その他の資産	106,708
2 流動資産	197,718
(1) 現金及び預金	146,853
(2) 未収金及び未収収益	50,865
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	3,531,110
1 固定負債	1,282,909
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,282,909
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時的借入金	-
2 流動負債	49,780
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	9,241
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	40,539
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	2,198,421
(1) 長期前受金	2,501,282
(2) 長期前受金収益化累計額( )	302,861
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	279,964
1 資本金	-
2 剰余金	279,964
(1) 資本剰余金	261,096
(2) 利益剰余金	18,868
負債・資本合計	3,811,074
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	277,614	250,818
資本勘定繰入	101,612	203,225
計	379,226	454,043

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名	
		広島県	
市町村・組合名	世羅中央病院企業団		
病院名	公立世羅中央病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	15,154 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	19	指定病院の状況	救 臨 輪
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	135	87.9	87.8	95.2
療養	20	95.1	97.3	86.6
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	155	88.8	89.0	94.1
平均在院日数(一般病床のみ)		16.7	19.5	19.5

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,346,787			
1 経常収益	3,334,748			
(1) 医業収益	2,742,711			
(うち修正医業収益)	2,593,108			
入院収益	1,749,896			
外来収益	622,238			
診療収入計	2,372,134			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	370,577			
(うち他会計負担金)	149,603			
(2) 医業外収益	592,037			
(うち国・都道府県補助金)	286,853			
(うち他会計補助・負担金)	169,385			
(うち長期前受金戻入)	128,815			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	12,039			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,342,230			
2 経常費用	3,331,382			
(1) 医業費用	3,306,337			
職員給与費	1,951,464	71.2	59.4	67.0
材料費	392,163	14.3	26.1	18.2
(うち薬品費)	210,930	7.7	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	150,869	5.5	11.8	9.4
減価償却費	243,290	8.9	8.7	10.2
経費	708,829	25.8	22.1	28.8
(うち委託料)	270,121	9.8	11.7	13.2
研究研修費	6,539			
資産減耗費	4,052			
(2) 医業外費用	25,045			
(うち支払利息)	13,611	0.5	1.0	1.1
(3) 特別損失	10,848			
損益	3,366			
純損益	4,557			
累積欠損金	175,342			
経常収支比率	100.1		103.3	104.5
医業収支比率	83.0		85.5	80.1
修正医業収支比率	78.4		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	9.6		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	11.6		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	9.5		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	90.5		91.9	88.8

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	4,950,860
1 固定資産	2,935,607
(1) 有形固定資産	2,923,592
(2) 無形固定資産	6,265
(3) 投資その他の資産	5,750
2 流動資産	2,015,253
(1) 現金及び預金	1,499,788
(2) 未収金及び未収収益	493,034
(3) 貸倒引当金( )	482
(4) 貯蔵品	22,808
3 繰延資産	-
負債合計	2,586,351
1 固定負債	1,156,618
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	705,810
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	450,808
(7) 一 負債	-
2 流動負債	387,018
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	107,178
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	113,836
(6) リ 一 負債	2,100
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	151,372
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,042,715
(1) 長期前受金	2,586,535
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,543,820
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	2,364,509
1 資本金	2,477,048
2 剰余金	-112,539
(1) 資本金剰余金	56,303
(2) 利益剰余金	-168,842
負債・資本合計	4,950,860
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	378,169	318,988
資本勘定繰入	113,165	113,165
計	491,334	432,153

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	6.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。